

検討資料（案）



担い手づくり

自治会加入促進

団体間の連携強化

地域の課題解決

地域力アップに向けた学区の活動・取組をサポートします！

<地域力アップ学区活動連携支援事業>

1 背景

大震災やゲリラ豪雨などの災害への備えや、日ごろからの子ども・高齢者の見守り活動、安心安全の取組など、地域課題に対応できる地域コミュニティの力、いわゆる“地域力”の重要性が益々高まっています。

一方、多くの自治会、町内会、その他地域の団体等においては、高齢化や役員のなり手不足、未加入者の増加などの課題を抱えており、これら課題の解決に向けて、地域内の団体間の連携・協力や地域活動の工夫などに取り組む必要性を感じている団体が多くなっています。

2 目的

長い歴史の中で培われた住民自治の伝統や支え合いの精神に基づく、京都ならではの地域コミュニティの力を将来にわたって継承していくため、課題を抱える学区や更に地域力の向上を目指す学区などにおいて、各団体の活動内容等を調査し、団体間の連携強化による地域課題への対応、より多くの地域住民の参画（自治会加入率向上等）に向けた組織運営や活動に、学区全体で取り組んでいただきます。

本事業の結果を踏まえ、今後の地域自治組織の在り方の検討につなげるとともに、「地域力アップ」に向けた、本市の施策や取組を検討します。

3 取組概要

元学区又は小学校区の地域団体（学区自治連合会、学区各種団体連絡協議会等）において、3年間で以下の取組を進めます。

(1) 各地域団体の活動内容等の現状調査及び地域課題の分析

地域内の様々な団体の現状（活動内容、運営体制等）を把握し、地域の課題を分析します。

(2) 連携した取組の実施

(1)の結果を基に地域で話し合い、学区ごとの課題解決や地域団体の効率的な運営、地域活動への参加促進に向け、各種地域団体が連携し、取組を進めます。

(3) 取組の効果検証

取組の検証結果を踏まえ、京都市において、今後の地域コミュニティ活性化の施策や地域力を高めるための取組等を検討します。

4 京都市からのサポート

本市の専門部署（地域コミュニティサポートセンター）やまちづくりの専門家（まちづくりアドバイザー等）が地域の取組をサポートするとともに、取組に係る経費に助成します。

5 募集

以下の視点(取組の例)に沿って、地域力を高める取組を進めていただける学区(2学区)を募集します。

<視点(取組の例)>

- ・ 地域の各種団体が連携する仕組みをつくりたい学区
- ・ 地域活動への参画者を増やす仕組みを考えたい学区
- ・ 自治会加入者が減少し、地域活動に課題を抱えている学区

■ スケジュール

- ・ 8月～10月 各学区で検討の上、応募してください。（2学区を超える応募を頂いた場合、京都市で選定します。）
- ・ 11月以降 各学区で取組を進めます。

■ 学区での取組(例)

項目	目的・効果
○地域課題の発見、共有化、解決への取組 ○地域づくりビジョン等の作成 ○多様な住民の参加	・ 地域課題の解決に向け、円卓会議などの手法を用いて多様な団体・個人が参加し、地域の大きな方向や取り組み方を示すビジョン(計画)を作成することにより、地域活動の目的を明確にします。
○地域行事の調整、団体同士の連絡・調整・連携 ○事務局の設置	・ 各種団体が行う地域行事やそれに付随する事務など、団体間の話し合いを一緒に行うことにより、地域団体の運営の効率化、役員の負担軽減を図ります。
○市政広報物の配布・回覧、広報板へのポスター掲示の効率化	・ 市民しんぶんをはじめとする市政広報物の配布や回覧について、より効率的かつ確実にを行う方法を検討・実施することにより、住民の負担軽減を図ります。
○自治会加入に向けたローラー作戦 ○各種団体の活動への参加促進	・ 未加入者や転入者に対して、自治会加入のメリットを説明することにより、徹底した加入促進活動を行います。 ・ 各種団体の活動に参加を促すことで、地域活動への理解を深め、担い手づくりにつなげます。
○あいさつ運動 ○広報紙の発行 ○ホームページの開設	・ 地域力を高めるための最も基本的な取組である声掛け(あいさつ運動)を行うことで、住民交流を深めます。 ・ 各種団体の取組状況を集約し、広報紙やホームページ等を通じて「見える化」することで地域への興味・愛着の喚起、地域活動への参加促進につなげます。

☆ ここがポイント! : 地域の声(H24自治会・町内会アンケート)から見てきたこと... ☆

地域課題として高齢化、担い手不足、未加入の増加などが挙がっているよ!

地域の課題として「地域自体の高齢化・人口減」や「役員のなり手不足」などが挙がっています。今後は、新たな担い手を育成し、地域活動の魅力を高めていく必要があります。

地域内の他の団体と連携していきたい自治会も多いよ!

地域では、多くの団体が、それぞれの目的を持って活動しています。他の団体と連携したいと考える自治会・町内会は半数を超えており、連携相手は「隣接する自治会・町内会」、「学校・PTA」が多くなっています。今後は、地域で活動する様々な団体の連携強化に向けた仕組みづくりが必要です。

